

女性技術系社員にとってより働きやすい職場を目指す東京水道サービス

子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得



東京水道サービス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：野田数、以下、TSS）は、子育てと仕事の両立しやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる企業として、9月6日に厚生労働省から「くるみん認定」を取得しました。

TSSは「次世代育成支援対策推進法」に基づき、一般事業主行動計画（期間：平成28年7月15日から平成31年3月31日まで）を策定し、子育てと仕事の両立を推進してきました。そして今回、一般事業主行動計画に定めた下記の内容に取り組んできたことにより、「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を取得することができました。

【社内での具体的な取り組み内容と実績】

取り組み内容	実績
社内制度の充実	・ 育児休業の期間延長 男女ともに、開始から最大3年間までの延長が可能に
育児と仕事の両立に悩む社員のケア	・ 正社員を対象にした社内の相談窓口の設置
ライフワークバランスを意識した職場環境の整備	・ 働き方見直し月間の設定 部署ごとに残業時間の確認、 ノー残業デーの社内呼びかけを実施

TSSは、今後子育て期を迎える20代の社員が多くを占めているに加え、さらに、女性の技術系社員の採用を拡大していくことを目指しています。

今後も、社員一人ひとりが生き生きと、ライフワークバランスを保ちながら働くことができる職場環境の整備を推進してまいります。

【くるみん認定について】



国において、急速な少子化の進行等を踏まえ、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を図るため、「次世代育成支援対策推進法」が定められています。従業員の仕事と子育てに関する「一般事業主行動計画」を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした企業は、「子育てサポート企業（くるみん認定）」として、厚生労働大臣の認定を受けることができます。

【東京水道サービスとは】

東京水道サービスは、東京都の政策実現の一翼を担う政策連携団体であり、日々、安全でおいしい水を安定的に供給するため、技術的な業務を展開し、都市活動を支えています。東京水道は平成30年に、近代水道創設120周年を迎えました。東京水道サービスは、この東京水道120年の歴史を守り続けた世界最高水準技術を受け継ぎ、東京都において水道施設の管理や、浄水施設の管理、水道に関するコンサルティング・調査、技術開発、水道資器材の管理・販売などを行っています。また、東京水道で培った技術・ノウハウを積極的に海外へ技術援助する事業を展開。世界各国で水道システムの構築・運営管理のサポートを行っており、これまで、ミャンマーやマレーシアなどの地域で水道施設の整備・管理を実施しています。

【会社概要】

- ・社名 : 東京水道サービス株式会社
- ・本社所在地 : 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル 5階
- ・設立年月 : 昭和62年2月
- ・資本金 : 1億円
- ・株主 : 東京都(51%)ほか
- ・従業員数 : 1,251名(平成31年4月現在)
- ・事業内容 : 水道施設の整備・管理等、水道に関するコンサルティング及び各種研修など

●本件に関するお問い合わせ

東京水道サービス(株)総務部福利課 担当:増田、師

TEL: 03-5325-1022 / E-mail:tss-pr@tssk.jp